

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									3.2		
Q-1 室内環境							0.40		3.4		
1 音環境							4.6	0.15	2.9	1.00	3.2
1.1 騒音							5.0	0.40	3.0	0.29	
1.1.1 暗騒音レベル							5.0	1.00	3.0	1.00	
2 遮音							5.0	0.40	3.8	0.50	
2.1 開口部遮音性能							5.0	1.00	5.0	0.30	
2.2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	3.0	0.30	
2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	4.0	0.20	
2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音							3.0	0.20	1.0	0.21	
2 温熱環境							2.0	0.35	3.7	1.00	3.4
2.1 室温制御							2.0	1.00	3.0	0.63	
2.1.1 室温設定							2.0	0.60	-	-	
2.1.2 換気熱・過熱制御性							-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能					W		2.0	0.40	3.0	1.00	
2.1.4 ゾーン別制御性							-	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
2.1.6 個別制御							-	-	-	-	
2.1.7 時差・外気に対する配慮							-	-	-	-	
2.1.8 監視システム							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							-	-	-	-	
2.3 空調方式							-	-	5.0	0.38	
床暖房を取り入れ上下温度差がなくなるように考慮した。							-	-	-	-	
3 光・視環境							3.0	0.25	3.2	1.00	3.1
3.1 昼光利用							4.2	0.30	3.4	0.50	
3.1.1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口							-	-	1.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							2.0	0.30	3.0	0.50	
3.2.1 透明部材のグレア							-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御					W		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	-	-	
3.3.1 照度							3.0	1.00	-	-	
3.3.2 照度および照度							-	-	-	-	
3.4 照明制御							3.0	0.25	-	-	
4 空気環境							3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0	0.63	
4.1.1 化学物質汚染							4.0	1.00	4.0	1.00	
4.1.2 化学物質汚染							-	-	-	-	
4.1.3 デコ・カビ等							-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ属菌							-	-	-	-	
4.2 換気							3.0	0.40	3.3	0.38	
4.2.1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能							-	-	4.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画							-	-	-	-	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視							-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御							-	-	-	-	
床・壁・天井にF☆☆☆☆の建材を約80%以上使用している。							-	-	-	-	
4.2.2 開閉可能な窓を確保している。							-	-	-	-	
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	3.5
1 機能性							4.4	0.40	4.2	1.00	4.2
1.1 機能性・使いやすさ							4.0	0.60	4.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性							-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応							-	-	4.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画							4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性							5.0	0.40	4.5	0.40	
1.2.1 広さ感・景観							-	-	4.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース							-	-	-	-	
1.2.3 内装計画							5.0	1.00	5.0	0.50	
建物コンセプト、内装計画を設定し素材や色調、照明などで演出を							-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性							3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.1	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
合成樹脂吹付リシン仕上げの耐用年数25年を使用しています。							-	-	-	-	
2.3 適切な更新							-	-	-	-	
2.3.1 床・壁・天井・外装仕上げ材の更新							-	-	-	-	
2.3.2 配管・配線材の更新							-	-	-	-	
2.3.3 主要設備機器の更新							-	-	-	-	
2.4 信頼性							3.2	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法							3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備							4.0	0.20	-	-	
精密機器に対しての浸水対策、光ケーブルの採用を行っている。							-	-	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	W	G	S						
3 対応性・更新性					2.8	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり							3.2	0.50	
1 階高のゆとり				階高3,025mm、2,975mmとしている。			4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ							2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.8	1.00			
1 空調配管の更新性					3.0	0.17			
2 給排水管の更新性					2.0	0.17			
3 電気配線の更新性					3.0	0.11			
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			
5 設備機器の更新性					3.0	0.22			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			
Q-3 室外環境(敷地内)						0.30			2.6
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR-1 エネルギー						0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化	W			過度な照明を避け、省エネに配慮した。	5.0	0.40			5.0
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
LR-2 資源・マテリアル						0.30			3.6
1 水資源保護					3.6	0.15			3.6
1.1 節水	W			節水型水栓水型便器を採用しています。	4.0	0.60			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40			
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33			
2 低環境負荷材					3.6	0.85			3.6
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W			再生建設資材の積極的な採用をしている。	3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W				5.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	5.0	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18			
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50			
2 断熱材	W				3.0	0.50			
3 冷媒	W								
LR-3 敷地外環境						0.30			2.5
1 大気汚染防止	W			潜熱回収型を使用している。	4.0	0.10			4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05			3.0
2.1 騒音					3.0	1.00			
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10			1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70			
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30			
4 光害の抑制				光害対策がドラインのチェック項目の過半を満たしている。過剰な外部	5.0	0.05			5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30			1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.3	0.40			3.3
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10			
6.3 交通負荷抑制			S	1) 2) 自転車台数を住戸分確保し、居住者専用のレンタルサイクルを設置	4.0	0.30			
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30			

LR-1 用途別点表		集合住宅				面積按分
		3,036 m2				総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0				3.0
3	設備システムの ERRIによる評価					5
	高効率化 個別設備による評価	5.0				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備	5.0				
3.5	昇降機設備					